

Lesson 2 ▶ 条件を与えて処理を行う IF

使用ブック

関数 1

ワークシート名

論理

Point

論理式には、比較演算子を使用して、条件を設定することが多いです。使用頻度の高い比較演算子覚えておきましょう。

▶比較演算子

>	より大きい
<	より小さい
>=	以上、以降
<=	以下、以前
=	完全一致
<>	不一致

Point

5%は、「0.05」と入力しても「5%」と入力してもかまいません。

条件を与えて処理を分岐することができます。論理式には条件を入力します。

【IF 関数】

条件が TRUE のときは真の場合の引数の値が返され、FALSE のときは偽の場合の引数の値が返されます。

書式 IF (論理式, 真の場合, 偽の場合)

- 「E8」に、小計が 5,000 円以上であれば 5%の割引をし、それ以外は割引をしないという式を、IF 関数を利用して作成しましょう。

=IF(E7>=5000,E7*5%,0)				
	B	C	D	E
	商品名	単価	個数	計
	ノート	325	1	325
	えんぴつ	380	4	1520
	ファイル	1500	1	1500
	小計			3345
	割引額			0
	消費税			167.25
	合計			3512.3

- 「D4」の値を「10」に変更し、割引額が変更されることを確認しましょう。

小計	5625
割引額	281.25
消費税	267.19
合計	5610.9

TRIAL IF 関数を確認しましょう。

◀ 練習 2 ▶

- 【問 1】 下記のレイアウトで DVD 貸出票を作成しましょう。

灰色の網かけがされているセルには計算式が入ります。返却日には、貸出日を入力すると自動的に 5 日後の日付が表示されるように式を入れます。また、貸出本数が 5 本以下の場合は 1 本あたりの料金を 280 円、5 本を超える場合は 220 円として料金を算出します。

	A	B	C
1	DVD 貸出票		
2			
3	日程	貸出日	
4		返却日	
5			
6	料金	貸出枚数	
7		料金	

Point

例えば、C5 のセルに入力されている日付の 8 日後の日付を求めるには →「=C5 + 8」

Lesson 3 ▶ 条件を与えて計算を行う SUMIF・SUMIFS

使用ブック

関数 1

ワークシート名

条件付き数式

Point

- 引数 [検索条件] に検索条件が入力されているセルを指定することもできます。
検索条件を「A17」に入力してある場合は下記の式で計算を行います。
=SUMIF (B2:B14,A17,D2:D14)
- [検索条件] に比較演算子を使用することもできます。比較演算子を使用して条件を作成する場合も、ダブルクォーテーションで囲みます。

Point

検索するセル範囲と集計するセル範囲が同じ場合は、[合計範囲]の指定は省略できます。

Point

SUMIF 関数と SUMIFS 関数では引数を指定する順番が異なります。

Point

キーボードから「=SUMIFS (」と入力することもできます。

検索条件を満たすデータの集計を行います。

集計を行うのは引数、合計範囲で指定したセル範囲です。

[SUMIF 関数]

検索範囲の値が条件を満たす場合、対応するセル範囲の値の合計を求めます。

書式	SUMIF (範囲, 検索条件, [合計範囲])
----	--------------------------

■ 使用方法

範囲	条件を検索するセル範囲を指定します。
検索条件	検索条件をダブルクォーテーションで囲むか、検索条件が入力されているセルを参照します。
合計範囲	検索条件を満たすデータの合計を計算するセル範囲を指定します。

- ◎ 「H3」に、ノートの売上の合計を計算しましょう。

「=SUMIF (B2:B14,"ノート",D2:D14)」と入力します。

- ◎ 「H6」に、2000 円以上の売上代金の合計を計算しましょう。

「=SUMIF (D2:D14,">=2000")」と入力します。

[SUMIFS 関数]

複数の検索条件をすべて満たすデータを対象として、対応するセル範囲の値の合計を求めます。

書式	SUMIFS (合計対象範囲, 条件範囲 1, 条件 1, 条件範囲 2, 条件 2,...)
----	---

■ 使用方法

合計対象範囲	合計を計算するセル範囲を指定します。
条件範囲 1	1 つ目の条件を検索するセル範囲を指定します。
条件 1	1 つ目の検索条件をダブルクォーテーションで囲むか、検索条件が入力されているセルを参照します。
条件範囲 2	2 つ目の条件を検索するセル範囲を指定します。
条件 2	2 つ目の検索条件をダブルクォーテーションで囲むか、検索条件が入力されているセルを参照します。

- ◎ 「H9」に、「田中」の「ノート」の売上代金の合計を計算しましょう。

- 1 SUMIFS 関数を挿入します。
- 2 合計対象範囲を「D2:D14」と指定します。
- 3 条件範囲 1 を「C2:C14」と指定します。